



セキュアストレージの設定

- [セキュアストレージについて \(1 ページ\)](#)
- [セキュアストレージの有効化 \(1 ページ\)](#)
- [セキュアストレージの無効化 \(2 ページ\)](#)
- [暗号化のステータスの確認 \(3 ページ\)](#)
- [セキュアストレージの機能情報 \(3 ページ\)](#)

セキュアストレージについて

セキュアストレージ機能では、重要な設定情報を暗号化して保護できます。非対称キーペア、事前共有秘密、タイプ6のパスワード暗号化キーおよび特定のクレデンシャルを暗号化します。インスタンス固有の暗号キーは、危険にさらされることを防ぐためにハードウェアのトラストアンカーに保管されます。

デフォルトでは、この機能はハードウェアのトラストアンカーを備えたデバイスで有効です。この機能は、ハードウェアのトラストアンカーがないデバイスではサポートされません。

セキュアストレージの有効化

始める前に

この機能はデフォルトで有効になっています。この手順は、デバイスでセキュアストレージを無効にした後にのみ実行してください。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例： Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 2	service private-config-encryption 例： Device(config)# service private-config-encryption	デバイスでセキュアストレージ機能を有効にします。
ステップ 3	end 例： Device(config)# end	特権 EXEC モードに戻ります。
ステップ 4	write memory 例： Device# write memory	private-config ファイルを暗号化し、暗号化フォーマットで保存します。

セキュアストレージの無効化

始める前に

デバイスでセキュアストレージ機能を無効にするには、次のタスクを実行します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例： Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	no service private-config-encryption 例： Device(config)# no service private-config-encryption	デバイスでセキュリティストレージ機能を無効にします。セキュアストレージを無効にすると、すべてのユーザデータがプレーンテキストで NVRAM に保存されます。
ステップ 3	end 例： Device(config)# end	特権 EXEC モードに戻ります。
ステップ 4	write memory 例： Device# write memory	private-config ファイルを復号し、プレーンフォーマットで保存します。

暗号化のステータスの確認

暗号化のステータスを確認するには、**show parser encrypt file status** コマンドを使用します。次のコマンド出力は、機能は利用できるが、ファイルが暗号化されていないことを示します。ファイルは「プレーンテキスト」形式です。

```
Device#show parser encrypt file status
Feature: Enabled
File Format: Plain Text
Encryption Version: Ver1
```

セキュアストレージの機能情報

リリース	変更内容
Cisco IOS XE Fuji 16.8.1a	この機能が導入されました。

